



沼中だより

〒059-1301
東開町6丁目1番2号
TEL 55-0340
FAX 55-0341

【学校教育目標】 高い知性・豊かな心情・強い身体

学校 HP
はこちら
から⇒



校長 熊谷 誠

1学期が終わりました。いくつかの大きな行事を終え、定期テストを終え、本日、通知表をもたせました。通知表を見ながら、今後の学習との向き合い方や生活の仕方について、お子さんと話してほしいと思います。

本日の終業式で生徒に話した内容の概要を掲載します。

明日からは30日間の夏休み。この1学期の自分自身を振り返って、皆さんはどうだったでしょう。よりよい自分、好きな自分で過ごせただろうか。反省すべきところはなかっただろうか。大切なのは、よく考えずになんとなく毎日を過ごすのではなく、自分自身を見つめ、振り返り、よかった点や課題を自分自身で認識すること。自分自身の現状、今の状態を認識できることはとても大切で、これからの長い人生を生きる上で必要な力。終業式という節目で、1学期の自分を振り返ってほしい。

1学期のみなさんの様子を振り返ると、特に印象に残っているのは体育祭。一人一人のやる気と団結が見られた。人を馬鹿にしたり、攻めたりするのではなく、励まし合う様子がみられたことがとてもうれしかった。どのクラスも、そして一人一人が自分の力を発揮し、素晴らしいパフォーマンスを見せてくれた。仲間と協力し、励まし合い、目標に向かって努力する皆さんの姿は、私たち教職員にとっても大きな感動と勇気を与えてくれた。「やる気」は回りの人にも自分にも「感動」を生むもの。結果云々ではなく「やる気」が人の心を動かし、自分自身を成長させる。

日々の授業でも、しっかりと学びに向かう姿が見られた。授業中の態度が素晴らしい人が多い。まだまだ気になる生徒ももちろんいるが。今後は、もっともっと、難しい問題でも、よく考え、進んで発言したり、仲間と協力して取り組んだりしてほしい。

スポーツでがんばった人もいるでしょう。ある大会を見に行ったときに、残念ながら負けて涙を流す姿を目にした。私自身も同じような経験があるのだが、悔し泣きでも、うれし泣きでも、一生懸命本気でがんばってきたからこそ、涙が出るのだと思う。本気でやってこなければ、そう悔しくもならないだろう。結果は満足できないことがあっても、それまでの自分の努力は必ず将来に生きてくる。特に1・2年生は、自分で満足のいく努力を続けてほしい。

さて、明日から始まる夏休みは、普段できないことに挑戦したり、家族との時間を大切にしたり、自分の好きなことに没頭したりと、たくさんの可能性を秘めている。長い30日間、気を抜いて時間を無駄にすることなく、何かに「やる気」をもって取り組んでほしい。特に3年生は、「勝負の夏」。どこの高校を目指すのか、をまずは考えるのだと思うが、もっと先をみて自らの進路を考えてほしい。その高校で何をがんばり、高校卒業後はどのような道へ進みたいのかまで、イメージできると強い。1・2年生も今から考えておくとよい。先の目標やイメージをもって過ごし、あとは「やる気」を出して行動するだけ。簡単ではないが、無駄な時間をできるだけ過ぎさないよう、よく考えて生活してほしい。合わせて、事故やトラブルに巻き込まれないよう自律心を持ちルールを守り、自分の身は自分で守る意識を常にもつこと。

最後に、「一人で抱え込まない」こと。長い夏休み中、つらいことや困っていることなどを一人で抱え込まずにだれかに相談してほしい。先生方、家族、信頼できる友達を頼ってほしい。長い夏休み、自分を大切にすることを約束しよう。そして、8月25日始業式で全員が元気な顔を見せてほしい。

保護者の皆さんにお願いです。近年、全国的に児童生徒の自殺者が増加しています。特に、長期休業明けに顕著に増加しています。尊い命が失われることがないように、休み中のお子さんの様子を見守り、悩みや変化が見られた時には、積極的に学校に相談してください。外部の相談窓口も利用できます。多感な思春期です。とらえどころが難しいとは思いますが、小さな変化を見逃さないようお願いいたします。また、事故や余計なトラブルに巻き込まれないようお願いいたします。